

民間企業が果たす日本経済飛躍に向けた価値創造

副代表幹事
東京オリンピック・パラリンピック
2020委員会 担当副代表幹事
新浪 剛史
サントリーホールディングス
取締役社長



日本はこの20年もの長い間デフレに苦しんできたが、完全とはいえないまでも、ようやくデフレ脱却の兆しが見えてきたと思っている。例えば、この春に自社から発売させていただいたスーパープレミアムクラスの「〜ザ・プレミアム・モルツ〜マスタースドリーム」の販売が想定以上に好調だ。通常のビールの価格と比較して約4割も高いが、多くの方々にご好評をいただき、中元商戦でも大変な人気を博した。消費者の意識に明らかに変化が起きている、何か潮目が変わってきているということを実感している。さまざまな統計を踏まえて、時々々の景気の良さあしを判断することも多いが、長年消費者ビジネスに携わっている私自身、消費者のマインドの変化は肌で感じる事が非常に大切だと考えている。お客さまは確実に何か新しいものを欲して、価値に納得すれば多少高いものでも購買するようになっており、お客さまより受容されるという強い大きな流れの変化を感じている。

モノがなかなか売れないデフレ下においては、企業は必死に価格を下げる努力をするが、単に価格を下げただけで

売れるわけではなく、利益も上がらない。リスクを避けるため、往々にして既存ブランドの力を借りた安易なエクステンション商品でしのごうとする。大きな投資のような新たな冒険をしてまで新しい価値を創ろうとはしない悪循環に陥ってしまう。チャレンジスピリットあふれる経営とは程遠くなってしまふのだ。

デフレ脱却の兆しが見えてきた今だからこそ、企業が新たな価値を提供し、メーカーがマーケットにドライブをかけていくことが非常に重要で、それこそがわれわれの使命だと思っている。再来年春に実施される消費税増税を克服し、乗り越えていくためにも、今は投資の種をまかねばならない。だから、会社でも常日ごろから社員に対して新たな価値をもっともっと提案しようとハツパをかけている。経済的にはいいタイミングがきているが、この機会を逃すことなく、われわれ民間企業をもっと活力を持って活動しやすくすべく、国民のベネフィット向上のためにも、政府、政治には規制緩和や改革などを早急にも実施してもらいたい。

No.781
August・September 2015
経済同友 8・9

C O N T E N T S

特集

2015年度(第30回)経済同友会 夏季セミナー **02**
**持続可能な社会の構築に向けて
東北アビール**

Close-up提言

国家戦略特区PT【意見書】 **25**
隅 修三 委員長
**国家戦略特区はチャレンジの場
フルスピードで規制改革の推進を**

Column

巻頭言 新浪 剛史 **01**
「民間企業が果たす日本経済飛躍に向けた価値創造」
リレートーク 佐々木 迅 **24**
「始球式」
コペンハーゲン通信 **27**
「目下のデンマーク経済と課題」
福島に“ほんとの空”が戻る日まで **28**
～福島大学FUREの挑戦～ 塚田 祥文 氏
「飲食物中放射性物質の基準値と福島県における農作物中濃度」
私の思い出写真館 井口 武雄 **30**
「スポーツとともに」

新入会員紹介

29

今月の表紙: シリーズ国花
【菊/日本】

菊は、春の桜に対して日本の秋を象徴する花です。平安時代から薬草や観賞用植物として用いられたといわれています。花言葉は「高貴」「高尚」「高潔」。